

MÉMOIRES 2021

チャンピオンズカップ

第22回チャンピオンズカップ(GI)優勝馬 テーオーケインズ



圧勝で彩られた新王者の戴冠式

地方に続きJRA・G Iも圧勝。新たな「砂の帝王」が誕生した。

ダート初参戦の桜花賞馬ソダシ。連覇を狙うチュウワウイザード。フェブラリーSの覇者カフェファラオ。注目馬が揃い混戦模様の中、1番人気に推されたのは大井の帝王賞を3馬身差で圧勝しているテーオーケインズだった。

前走、金沢のJBCクラシックでは1番人気に支持されながら、出遅れが響き4着に敗れたテーオーケインズ。あれから約1か月、陣営はリベンジを期してゲート練習を積んできた。この日も枠入り後にしばらく待たされ、一度はゲート内で後ろにモタれてしまったが、「そこでなんとかこらえてくれました」と松山弘平騎手が振り返ったように、五分のスタートを切ることに成功する。

逃げたのは1番枠のソダシだった。桜花賞を記録勝ちしたスピードで、砂の猛者たちを先導。このレース2年連続3着のインティ、前哨戦のシリウスSを制したサンライズホープなどが続く。テーオーケインズはこれらの先団を見る5、6番手でレースを進めた。

直線入口、ソダシを交わしてインティが先頭に立つ。その直後から力強く迫るのがテーオーケインズ。軽く仕掛けると、一瞬でインティを交わして突き放し、あとは一方的に後続を引き離すだけ。最後は激しい2着争いをはるか後方に見ながらゴール。6馬身差は前身であるジャパンCダート時代を含めて、2001年クロフネの7馬身差に次ぐレース史上2位の圧勝だった。

この年、4歳を迎えて本格化したテーオーケインズは、一気に3連勝で6月に帝王賞を制覇。3馬身差の圧勝には誰もが驚かされた。そしてJRA・G I 初制覇となったこの日は6馬身差。松山騎手は「テーオーケインズの強さをみなさんに知ってもらえて本当によかったです」と喜んだ。

会見で「僕自身も驚くくらいの強さでした」と笑顔で話した高柳大輔調教師は、開業4年目でJRA・G I 初制覇となった。かつて調教助手として働いていた安田隆行厩舎で、厩舎のG I 初制覇を達成したのが2010年ジャパンCダートのトランセンド。緑のあるレースで、今度は調教師として初の勲章を獲得した。



▲馬群の中でテーオーケインズ(帽色・赤・左)がスパート態勢に。

▶帝王賞優勝馬による同年のチャンピオンズカップ制覇は史上初。



第22回チャンピオンズカップ(GI)

12/5 中京競馬場 1800m(ダート・左)曇・良 16頭

| 着順 | 馬名 | 性別 | 年齢 | 斤量 | 騎手 | 調教師 | タイム/差 | 人気 | 通過順位 |
|----|-----------|----|----|----|--------|-------|--------|----|-------------|
| 1 | テーオーケインズ | 牡 | 4 | 57 | 松山 弘平 | 高柳 大輔 | 1:49.7 | ① | 5 5 6 6 |
| 2 | チュウワウイザード | 牡 | 6 | 57 | 戸崎 圭太 | 大久保龍志 | 6 | ③ | 10 10 11 11 |
| 3 | アナザートゥルース | 牝 | 7 | 57 | 坂井 瑠星 | 高木 登 | 3/4 | 14 | 3 3 3 3 |
| 4 | インティ | 牡 | 7 | 57 | 武 豊 | 野中 賢二 | クビ | ⑨ | 2 2 2 2 |
| 5 | サンライズノヴァ | 牡 | 7 | 57 | 松若 風馬 | 音無 秀孝 | 1 1/4 | 13 | 13 13 13 13 |
| 6 | オーヴェルニュー | 牡 | 5 | 57 | 福永 祐一 | 西村 真幸 | アタマ | ⑧ | 8 8 10 11 |
| 7 | メイショウハリオ | 牡 | 4 | 57 | 浜中 俊 | 岡田 裕男 | アタマ | ⑩ | 11 12 11 8 |
| 8 | スワーヴアラミス | 牡 | 6 | 57 | 松田 大作 | 須貝 尚介 | 1 1/4 | 15 | 15 15 13 13 |
| 9 | エアスピネル | 牡 | 8 | 57 | 藤岡 康太 | 笹田 和秀 | 3/4 | 11 | 8 8 7 8 |
| 10 | カジノフォンテン | 牡 | 5 | 57 | M.デムーロ | 山下 貴之 | 2 | ⑦ | 5 5 3 5 |
| 11 | カフェファラオ | 牡 | 4 | 57 | C.ルメール | 堀 宣行 | ハナ | ④ | 11 10 7 6 |
| 12 | ソダシ | 牝 | 3 | 54 | 吉田 隼人 | 須貝 尚介 | 1 3/4 | ② | 1 1 1 1 1 |
| 13 | ケイティブレイブ | 牡 | 8 | 57 | 内田 博幸 | 清水 英克 | クビ | 16 | 16 16 13 13 |
| 14 | クリンチャー | 牡 | 7 | 57 | 川田 将雅 | 宮本 博 | 2 | ⑧ | 7 7 7 8 |
| 15 | サンライズホープ | 牡 | 4 | 57 | 幸 英明 | 羽月 友彦 | 3/4 | ⑥ | 3 3 3 3 |
| 16 | ダノンファラオ | 牡 | 4 | 57 | 横山 武史 | 矢作 芳人 | 10 | 12 | 13 13 16 16 |

単勝 ⑥330円 複勝 ⑥140円 ⑬150円 ⑩1,150円 枠連(3-7) 600円
馬連 ⑥-⑬610円 馬単 ⑥-⑬1,100円 ワイド ⑥-⑬280円 ⑥-⑩4,570円 ⑩-⑬5,540円
3連複 ⑥-⑩-⑬17,650円 3連単 ⑥-⑬-⑩52,660円

ハロンタイム 12.5-11.1-12.9-12.8-12.1-12.3-12.2-11.8-12.0
通過タイム 600m ③36.5-800m ④49.3-1000m ①1:01.4-1200m ①1:13.7-1400m ①1:25.9-1600m ①1:37.7

優勝馬 テーオーケインズ

2017.4.27生 父シニスターミニスター 母マキシムカフェ 母の父マンハッタンカフェ
日高・ヤナガワ牧場生産 馬主:小笹公也氏